

## 令和元年12月美作市議会定例会 行政報告

令和元年第6回12月美作市議会定例会を招集しましたところ、議員各位のご出席を賜り厚くお礼申し上げます。恒例に従いまして、美作市行政の状況を報告いたします。

### (7人制ラグビーアメリカ代表)

はじめに、2020年東京オリンピック・パラリンピックに関する取組であります。既に出場権を獲得している、アメリカ合衆国の男女7人制ラグビー種目において、ホストタウン登録を行い、事前合宿の受け入れをしたいと考えております。

キャンプ誘致に伴い、先方から要請のあったトレーニング機材の整備につきましては、令和2年度の当初予算に計上し、対応する予定でありましたが、ラグビーワールドカップのキャンプにおいて使用された機材が中古品として売りに出されており、予定していたリース料とほぼ変わらない金額であること、また、キャンプ終了後も、すでに耐用年数が経過している「みまさかアリーナ」のトレーニングジム機材として活用が可能なことから、購入することといたしました。なお、可能な限り早期の契約が必要な状況であったことから、今議会での補正予算計上では間に合わないと判断し、急遽予備費において対応させていただいております。

今後の予定としては、7人制ラグビーのアメリカ代表チームが、3月にワールドシリーズ香港大会に向けて、また、7月には本番の東京オリンピックに向けて、美作ラグビーサッカー場で事前キャンプを行う見込みとなっております。

### (イエンバイ省)

去る11月6日、ベトナム外務省の立会いのもと、ベトナムの北西部にあるイエンバイ省と「友好協力関係を築いていくための覚書」を締結いたしました。

覚書の内容としては、経済、農業、文化、教育、人材交流などの協力関係を促進し、具体的な取り組みを目指すというものであります。

その一つとして、イエンバイ省の学生を当市にある専門学校へ受け入れ、日本語、介護、看護の資格を習得して、市内の企業に勤務する流れを作る仕組みづくりの提案を行っております。

また、民間レベルでの交流を目指して、美作市内の民間の方々とともに訪問団を組み、来春頃を目途に、スタディツアーを実施したいと考えております。

### (総合防災訓練)

次に、11月16日には、議員の皆様にもご参加を賜り、令和元年度美作市総合防災訓練を、北山の美作保健センター一帯で実施いたしました。

訓練は、水害を想定し、初動対応の確認や関係機関との連携体制の強化とともに、避難行動の

促進、要配慮者の避難行動・支援の強化や、防災意識の一層の高揚を図ることを目的としました。

21 団体、約 300 名の方々にご参加をいただき、2 部構成の訓練を行っております。1 部では地区自治会による避難訓練、福祉避難所の開設運営訓練。2 部では、岡山県消防防災ヘリコプターによる救出訓練をはじめ、自衛隊、消防団、消防署による土嚢積み、救出訓練を行い、非常時の対応について確認をしております。

大規模災害において円滑な防災活動が実施できるよう、防災並びに連携意識の醸成を図り、訓練で得たことを、災害発生時の減災につなげるよう活かしてまいりたいと考えております。

#### (ふるさと納税)

次に、ふるさと納税につきましては、令和元年 10 月末現在で、2,193 件、4,200 万円強のご寄附をいただいております。これは、昨年度の同時期の寄附金額と比較し約 1.5 倍となっており、昨年度の寄附の総額に迫る金額です。寄附の増加の要因としましては、返礼品の種類を昨年度の 98 種類から 214 種類に増やし、ラインナップの充実を図るとともに、本年度から広告力のあるポータルサイトを導入したことによるものと考えております。年度末までに、目標金額である 4,500 万円を上回る寄附金額となることが見込まれるため、本議会に関係補正予算案を上程させていただきます。

#### (財政について)

最後に、財政の状況についてご説明申し上げます。

平成 30 年度決算を基に、財政のわかりやすい分析と今後の財政収支見通しについて情報提供を行うため、引き続き「財政の総点検」に取り組み、ホームページで公開しております。

財政の健全化を示す実質公債費比率などの「財政健全化判断比率」は、昨年度に引き続き改善し、市債残高は 7 億 9 千万円減少、基金残高は 2 千万円減少し、その結果、債務残高から基金残高を差し引いた純債務残高は 7 億 7 千万円減少いたしました。引き続き繰上償還によって地方債残高と基金残高をコントロールし、「財政健全化判断比率」の改善に取り組んでまいります。

次に、成果を挙げている取り組みについて、いくつか紹介いたします。

1 点目は、交通施策です。タクシー利用補助制度を導入したことにより、1 乗車あたり 1 万円を超えていたバス路線を、デマンドタクシーに切り替えることができました。市営バス津山線につきましては、位置情報をスマートフォンなどの携帯端末に表示できるアプリを導入し、サービスの向上にも努めております。

2 点目は、給食センターの集約です。調理能力に余裕がある調理場に集約することにより単年度で約 8 百万円のコストダウンにつながりました。

なお、この度の「財政の総点検」は第 6 版となり、初版の財政指標と比較（H25 決算と H30

決算) しますと、普通会計の市債残高が△34億円の減、基金残高については40億円の増、実質公債費比率は△2.9ポイント、将来負担比率は△76.8ポイントの減と、各指標において着実な改善が見られております。

この間に、大規模事業といたしましては、湯郷幼稚園建設、新クリーンセンター最終処分場の建設、都市公園の整備、美作市スポーツ医療看護専門学校の誘致、定住促進住宅の整備、小中学校へのエアコン整備などを実施することができました。ソフト事業につきましても、介護保険料の引き下げ、タクシー利用補助制度の導入、結婚・出産に対する補助制度の導入などを行うことができ、市民の皆様にとって暮らしやすい町となり、市外からの人口流入につながりつつあるものと感じております。

また、今回の「財政の総点検」では、美作市のみならず、同じような立場にある自治体が抱える問題を提起しております。具体的には下水道事業に対して重くのしかかっている財政負担について、岡山県内自治体のデータを整理し、政策的な課題を浮き彫りにしています。11月20日に岡山財務事務所が下水道事業の現地監査の講評に来庁されましたが、この資料を元に、財政融資制度のあり方について、提言を行わせていただいております。

以上、諸行政の一端をご報告申し上げまして、議会の審議と市民の皆様の美作市政に対するご理解とご支援の一助にしたいと考え、行政報告とさせていただきます。